

漁況海況予報事業（情報交換推進事業）

（事務局） 水産庁 水産部 水産課

本永文彦、運天さつき*、徳元晴美*、上原智美*

1. 目的及び内容

沿岸、沖合漁業に関する漁海況の調査、研究および資源調査の結果に基づいて、海況の変動や漁場の形成される位置、魚群の量などの予報文を作成する。さらに、漁海況情報を収集し漁業者に通報することにより、漁業資源の合理的利用と操業の効率化を図り、漁業経営の安定に資する。また、海況や資源の状態などあらゆる情報から、漁況あるいは資源の変動を予測する手法を開発改良し、予報の精度を高める。

本事業を実施するにあたり、毎月の漁獲記録が保存されたフロッピーディスクや、漁獲量集計に必要なセリ帳を提供していただいた関係漁協には厚くお礼申し上げる。

2. 方法

漁海況情報の作成 曳縄（主にパヤオ）やかつお竿釣り、トビロープ、とびうか釣りなどの各地の漁獲状況について、1カ月に1度、漁協別魚種類漁獲量を整理し、“漁海況情報”を作成し水産関係者へ広報する。漁獲資料として、漁協作成による魚種別漁獲量の資料を用いた。

予報文の作成 かつお漁の初漁時期（4～6月）に沖縄島北西と宮古・八重山での漁況予報をし、漁期全般の漁模様についての情報を関係漁協に通報する。

生物情報の収集 カツオやキハダ、クロカジキ、とびうお類の魚体重量や銘柄別漁獲重量。

市場情報の収集 販売業務（セリ帳集計）にオフィスコンピュータ（オフコン）を導入している漁業組合を対象に毎日の販売データをフロッピーディスク（FD）に保存してもらい、それを漁獲統計の資料としている。これは、1989年1月以降実施している。また、オフコンを持たない漁業組合については、水産試験場でパソコンにより集計する。

3. 結果

1991年の漁況の経過 漁獲量について概数値でしかまだ得られてないため、ここでは漁況の特徴を記述するにとどめ、詳細な報告は後日行う。

①かつお竿釣り 沖縄周辺海域におけるかつお竿釣り漁獲量は、近年低調で推移している。沖縄島北西海域を漁場とし小型魚を主対象とする本部船の漁獲は、低調の昨年を上回ったものの漁獲は少なかった。またC P U Eは昨年に次いで2番目に低い水準であった。

一方、夏季に回遊する中・大型魚を主対象とする宮古・八重山では漁獲好調であった模様。聞き取りによれば過去10年間で最高の漁獲があったようである。

②パヤオ利用漁業 沖縄島南部と宮古島伊良部漁協、与那国島の3地域の情報収集と広報を行っている。ここではその資料をもとに、1991年漁期の特徴を述べる。なお、宮古島伊良部漁協での漁獲情報が得られなかったので、市場からの聞き取り結果を記しておく。

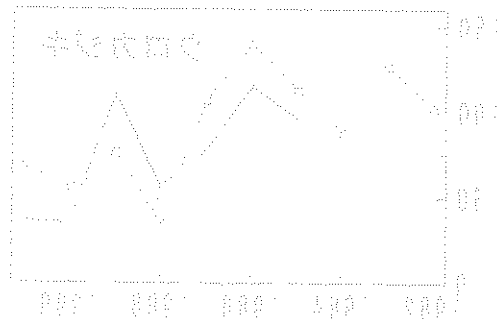
*非常勤職員

しび（キハダ10kg未満） 沖縄島南部では、1985年以降に漁獲は増加傾向であったが、1990年に一転して低水準であった。1991年は前年をさらに下回った。これは高収入の期待できるソデイカ漁への転向も一つの要因である。

きはだ（キハダ10kg以上） 沖縄島南東海域ではこれまで年々漁獲が増加していたが、1990年はしびと同様に低調な水準であった。1991年はソデイカ漁期と重なる春季漁の漁獲は少なかったが、秋季漁とあわせて前年を上回る漁獲であった。一方、宮古島ではこれまで隔年変動がみられ、1年毎に好漁、不漁を繰り返している。聞き取りによれば、1991年は好調の漁獲があった模様。

クロカジキ 沖縄島南東と与那国島とも1988年の不漁から、翌年1989年に若干回復したが、1990年に再び不漁となった。1991年は前年並みの漁獲に留まっており、1988年以降低水準の漁獲が続いている。これまで、両海域での漁獲の年変動が同傾向であることから、本種の漁況変動は第一に沖縄近海への回遊量に左右される可能性が高いと考えられ、今後の資源動向への注意が必要である。

シイラ 1985年以降の漁獲は増加傾向を続けており、1991年も高い漁獲量であった。漁期は春季と秋季であるが、いずれも好調である。



沖縄県水産試験場の調査によるものである。詳細は「沖縄県水産試験場の調査報告書」を参照してください。

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

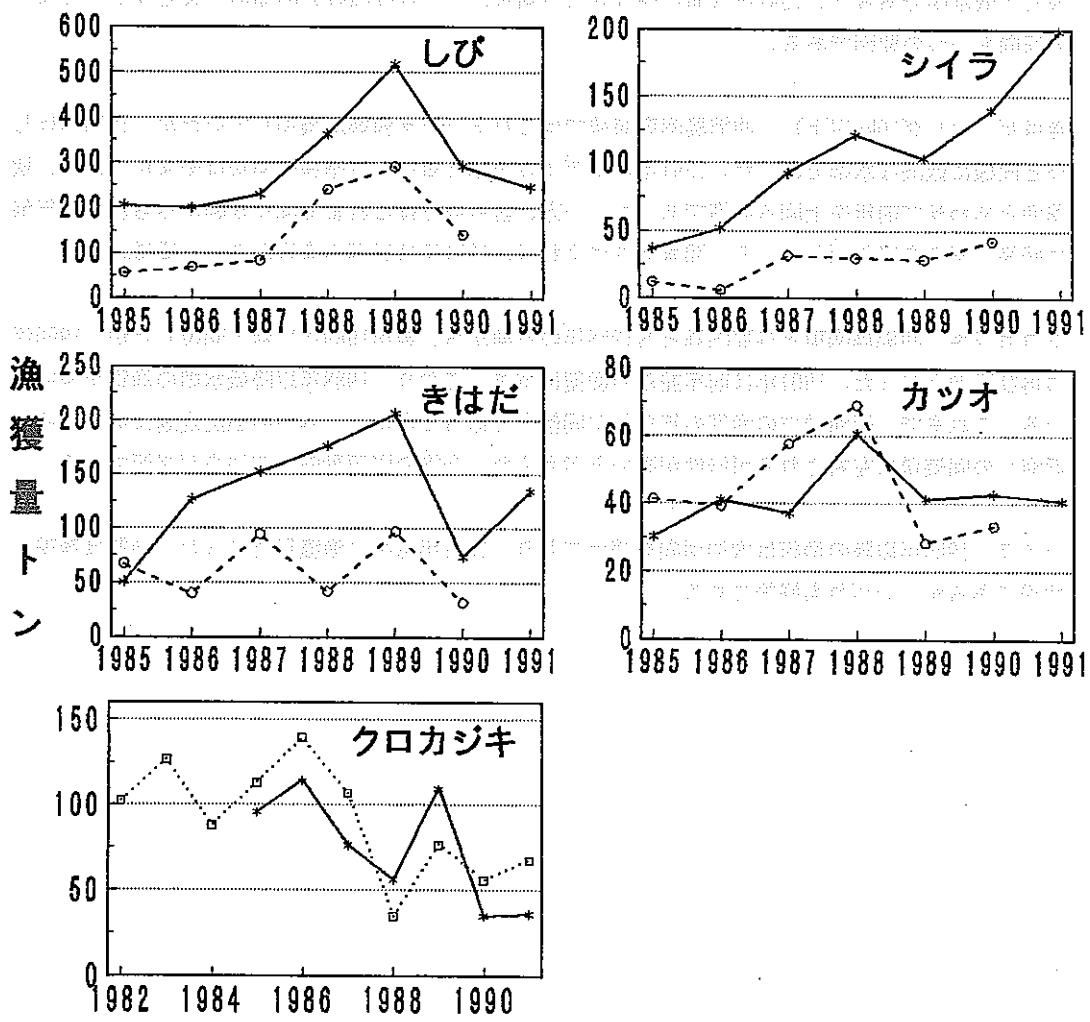


図-1 パヤオ利用漁業における漁獲量の経年変化
 ×沖繩島南東、○伊良部漁協、□与那国島